



所内 第10回 写真コンクール入選作 「石の境界」 地質部 洋内 洋佑

石の境界

ある岩石と他の岩石との境い目がどうなっているかは 地質屋が一番注意して観察することがらである

写真で下半分のミロナイト（圧砕岩）の中の片理はたてに通っている（白い細縞で示されている）のに 上半分のひん岩は その片理をジグザグに断ち切っていることから ひん岩がミロナイトよりもあとで貫入してきたことが知られる なおよく見れば 岩石の細かなひび割れの様子も 岩石によって全く違っている 写真の左隅に近いところではミロナイトの一片がひん岩にかきとられてわずかに移動しているのが見える

東北地方の朝日山塊の西側に発達する圧砕帯調査の折のひとつである なお 人物やこの写真のハンマーなどは 大きさを知らせるために最も好んで使われるスケールである

No.121 9月号 目次

- わが国の黒鉱（式）鉱床について
- 軽量骨材資源 坑火山
- マンガン鉱物と鉱石 ②
- 海洋掘さく船「第一探海号」見聞記
- 植物化石ハンティング
- 音波探査とは ② ～音波探査の音源～
- 地質図の映像
- 建設時代の遊撃隊員

地質ニュース

第120号 8月号

定価 ¥170 円120

昭和39年8月25日 発行

編集人

林 久 雄

発行所

工業技術院 地質調査所

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段4の11

Tel. (261) 7173・9387

振替口座東京 32466

総発売元

政府刊行物販売所

東京都千代田区大手町1の5

Tel. (221) 5570

印刷所

共同印刷株式会社